

「太陽光発電&エネファームによるダブル発電」と「先人の省エネの知恵」を融合した新スタイルのエコモデルハウス  
『大船展示場』『与野展示場』オープンのお知らせ

このたび、株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢 俊哉)は、9月11日(土)に『大船展示場』(神奈川県鎌倉市)を、9月18日(土)に『与野展示場』(埼玉県さいたま市)を、それぞれオープンすることになりましたのでお知らせいたします。

今回出展するエリアは、それぞれ東京まで1時間以内で通勤できる利便性から、20代後半~40代を中心に一次取得・建て替え・住み替えなど幅広い戸建て需要があります。

今回出展するモデルハウスは、国の認定基準を大きく上回る優れた基本性能を持つ長期優良住宅をベースに、昔から日本人が四季を通じて培ってきた、自然とともに豊かに・快適に暮らす知恵(日射遮蔽・日射熱利用・自然風利用)をコンセプトに採用し、過剰な設備に偏ることなく、光や風などの自然エネルギーを上手にコントロールしながら、太陽光発電とエネファームによるダブル発電などの最新技術と融合させた新スタイルのエコモデルハウスです。

我が国のCO<sub>2</sub>排出量は、2008年度データで世界第5位の約12億トン。そのうち約14%、1億7千万トン以上が家庭から排出されていると言われております。(※出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

このような環境問題を考えると家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量削減は重要な課題ではあるものの、最近のエコ住宅の多くは過剰な設備に偏ってしまい、住宅価格が高額になってしまう傾向にあります。当社では、人と地球のこれからの想うひとりでも多くの方に、エコ住宅をもっと身近な存在に感じてもらいたいと考え、“日本の住まいを安くする”というミッションのもと、住宅品質を向上させながらもコストダウンや効率化に取り組み、当モデルハウスで提唱するエココンセプトを採り入れた長期優良住宅(当社注文住宅ブランド「OPTIS [オプティス]」)を1,000万円台からのお求めやすい価格でご提供してまいります。

また、各展示場では「エコ得アドバイザー」を配置して、自然を感じながら快適に暮らす知恵や工夫などをご紹介し、エアコンを極力使用しない健康で経済的な生活をご提案してまいります。

なお今回の出展により、当社の展示場数は神奈川県内では5カ所目、埼玉県内では18カ所目、全国では46カ所目となります。

■各展示場の概要

＜大船展示場＞

1. 概要

オープン日	2010年9月11日(土)
所在地	神奈川県鎌倉市岩瀬1340 他 (tvkハウジングプラザ 大船内)
営業時間	10時~18時
構造	木造2階建て
延床面積	260.34㎡(事務所面積含む)
仕様	太陽光発電・エネファーム仕様の長期優良住宅

## 2. コンセプト

- ・当社が出展する「tvk ハウジングプラザ大船」(9/11 グランドオープン)は、県下初となる、出展全9区画がエコ仕様のモデルハウスで統一された革新的な総合展示場です。

当モデルハウスの特徴は、太陽光発電やエネファーム仕様の長期優良住宅をベースにした、『伝統的な日本家屋の省エネの知恵と、最先端技術を融合した新スタイルのエコ住宅』であり、エアコンを極力使用しない健康的で経済的な生活を実現できる住宅をご提案してまいります。

先人の省エネの知恵では、過剰な設備に頼るのではなく、四季の風の流れや日差しをシミュレーションし、例えば、暖かい空気は上昇するという性質を利用して、2階の各居室には開放できるトップライトを設けて屋内に快適な風の流れを創出。また、一般住宅より深い軒の出にすることで夏の日差しを遮り、冬の暖かい陽だまりを取り入れるなど、光や風を上手にコントロールすることで、夏涼しく冬暖かい室内を実現しています。

- ・エリア特性を鑑み、仕様は2世帯住宅とし、外観はジャパネスクモダンを基調としました。また、内装は古き良き日本家屋を現代風にアレンジした色調を基本としています。

将来の家族構成の変化も想定し、スケルトン&インフィル設計による空間提案をしており、完全分離2世帯をご希望のお客様にも容易に対応できます。

- ・大収納や小屋裏収納を配置し収納力を向上させ、随所にプラスαの提案を施しています。特に若夫婦世代の家族の生活スタイルを想定し、2階には主婦専用の大収納スペースを設けるなど、主婦目線での使いやすさを提案しています。

## <与野展示場>

### 1. 概要

オープン日	2010年9月18日(土)
所在地	埼玉県さいたま市中央区本町西5-111 他 (さいたまハウジングパーク内)
営業時間	10時~18時
構造	木造2階建て
延床面積	234.50㎡(事務所面積含む)
仕様	太陽光発電・エネファーム仕様の長期優良住宅

### 2. コンセプト

- ・過剰な設備に頼るのではなく、四季の風の流れを上手にコントロールすることで、例えば、2階には開放できるトップライトを設け、リビングから吹き抜けを通して風を自然排出させることで、屋内に快適な風の流れを創出。次世代省エネ住宅でありながら、自然の風の心地よさを十分に楽しむことができます。
- ・リビングの天井高を通常の1.2倍の3mと高くするとともに、実大耐震実験で強度が実証された独自開発の高倍率耐力壁をバランスよく配置することで、大空間・大開口を実現。リビングとダイニングには柱のない約35畳(約60㎡)の大空間を確保し、リビングは大開口の掃き出し窓にすることで、明るく開放感のあるLDKに仕上がっています。
- ・総合展示場は、新大宮バイパスや首都高速インターに近い立地のため、近隣だけではなく、遠方からの来場も見込まれるため、都市型から郊外型まで幅広い住まいづくりの提案をおこなってまいります。  
また、太陽光発電では発電量が可視化できる工夫をするなど、エコへの関心が高い20~40代のお客様ニーズにもお応えてまいります。

## ■「エコ得アドバイザー」が、種々の国の補助制度の中から、お客様にあわせてお得な建築計画をご提案

お客様に一番お得な建築計画をご提案できるよう、住宅税制改正、太陽光発電などに対する補助金制度、住宅エコポイントなど、国の補助制度をはじめとする最新知識を習得した営業担当を「エコ得アドバイザー」として配置。お客様の資金計画やご要望にあわせて各種補助制度をご紹介しますほか、長期優良住宅のメリットや、太陽光発電の光熱費・売電価格等のメリットを分かりやすくご説明します。

さらに、自然を感じながら快適に暮らす知恵や工夫などもご紹介しながら、健康的で経済的に暮らすエコライフのご提案もおこなってまいります。

## ■案内地図

### <大船展示場>

JR 根岸線「本郷台」駅より徒歩 15 分、または、JR 東海道線・横須賀線「大船」駅より徒歩 22 分  
「tvk ハウジングプラザ大船」内（「tvk ハウジングプラザ大船」は、9/11 に新規オープン of 総合展示場です）



### <与野展示場>

JR 埼京線「北与野」駅より徒歩 23 分 「さいたまハウジングパーク」内  
（「さいたまハウジングパーク」は、9/18 に新規オープン of 総合展示場です）



<報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社アキュラホーム 広報課 堀越 TEL : 03-6302-5010  
<お客様からのお問い合わせ先> (大船展示場) TEL : 0467-42-2051 (9/11 より)  
(与野展示場) TEL : 048-851-2800 (9/18 より)

## ＜ご参考：当社の環境への取り組み＞

当社では、主宰する全国約450社の日本最大のホームビルダーネットワーク「ジャープネット」とともに、2003年に、次世代省エネ住宅や太陽光発電搭載オール電化住宅を、また、2007年には国の認定基準を高水準でクリアした長期優良住宅をいち早く開発・販売してきました。

これらの実践を通じてエコ住宅に関するノウハウを積み重ねてきた結果、昨年11月には「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」(※1)への提案採択や、また、昨年12月には、埼玉県住宅供給公社がさいたま市見沼区で実施する「エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクト」(※2)の企画提案コンペにて、当社が提案した“自然と共生しながらCO<sub>2</sub>排出を削減する工夫”が高く評価され、協賛企業として採用。

さらに今年3月には、(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅認定(システム供給型)」(※3)を受けるなど、家づくりを通じた環境配慮の取り組みが公的にも評価されています。

### ※1:住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業に採択

国土交通省が実施する平成21年度第2回「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>推進モデル事業」新築戸建住宅提案部門に応募した「つくり手・すまい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省CO<sub>2</sub>木造住宅」の提案が採択。

採択を受けた提案のコンセプトは以下3点。

#### ①住宅のライフサイクルにおける省CO<sub>2</sub>対策

建設・居住・解体といった各段階でCASBEEライフサイクルCO<sub>2</sub>評価の試算によるとCO<sub>2</sub>が41%削減。

試算対象に入っていない製造・流通段階の取り組みを含めると41%+αの削減効果となる。

#### ②つくり手・すまい手・近隣が一体となった省CO<sub>2</sub>対策

つくり手においては、資材配送を自社物流センターの計画配送により搬入回数を削減。また地域産材活用による地産地消の実現やガラス繊維協会によるマイスター認定取得者による断熱工事の実施、近隣住戸への影響を考慮した街区レベルでの省CO<sub>2</sub>設計の実施。すまい手へは、CO<sub>2</sub>排出量を削減する啓発ツールの提供やコーチングの実施。近隣の住居者へは、現場見学会を通じた情報発信や勉強会の開催などを実施。

#### ③主宰する全国ホームビルダーネットワーク「ジャープネット」への段階的な普及体制を構築

第1ステップとしてアキュラホームによるモデル住宅の建設。第2ステップをジャープネット内の牽引役となるリーディングメンバーを組織して取り組むことによる地域展開とし、以降ジャープネットへ段階的に普及させる体制を構築。

### ※2:エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクトに採用

「エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクト」とは、埼玉県住宅供給公社が保有する、さいたま市見沼区(ファミリータウン東大宮)の宅地9区画(156.53㎡~168.35㎡)を今年4月29日よりエコ住宅用として埼玉県民に分譲し、協賛企業として採用された当社を含む民間住宅会社3社が住宅建設を請け負う共同事業。

なお、宅地購入者には、東京ガス(株)の「エネファーム」や太陽光発電パネルなどを設置したエコ住宅を建設することを条件に、最大200万円まで宅地価格を減額し、エコ住宅の建設を支援。

モデルハウス「エコ住ま<sup>す</sup>とハウス」は、公社と当社・東京ガス(株)・(株)ホンダソルテックとの共同事業により、公社保有地に建設し、2年間一般に公開。

※「エコ住ま<sup>す</sup>とプロジェクト」事業概要・物件概要などは、埼玉県住宅供給公社のホームページでご確認ください。

(<http://www.saijk.or.jp/>)

### ※3:環境共生住宅認定取得

(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境共生住宅認定(システム供給型)」を、今年3月31日に受けた。

環境共生住宅とは、地球環境を保全する観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また、周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住まい手が主体的に関りながら、健康で快適に生活できるよう工夫された、環境と共生するライフスタイルを実践できる住宅、および、その地域環境のこと。

今回の認定は、環境共生住宅(システム供給型)として、環境共生住宅をホームビルダーネットワーク「ジャープネット」の中で、確実に施工・管理し、供給する点が評価されたもの。

※「環境共生住宅認定」の概要などは、(財)建築環境・省エネルギー機構のホームページでご確認ください。

(<http://www.ibec.or.jp/nintei/kyousei/>)